



あかボラ通信

平成25年度
6月号

新年度がスタートしてからすでに3ヶ月がたとうとしています。バタバタと慌ただしくいろいろなことが過ぎていく中で、ボラの皆さんもそれぞれの道で新しい一歩を踏み出したのではないのでしょうか。

交流の家でも「平成25年度」がスタートし、大きな事業が2つ開催されました。その2つともボラの皆さんが大活躍していましたので、その様子を紹介したいと思います。

桜フェスタ

4/13(土)、当日は1000人以上の来場者をお迎えしました。ボラも総勢47名が参加して、一緒に運営をしてくれました。主な仕事は駐車場係・受付係・切り絵体験ブース・会場係・記録係音楽イベント係・ぐんまちゃん係・インタビュー係・あかボラの店・バルーンアートでした。



【みんな各担当に分かれてのお仕事中♪参加した全員が楽しそうに、かつ真剣に仕事をしていましたね！】



立ちっぱなしの駐車場に子どもたちに叩かれるぐんまちゃん…過酷な仕事もあったかもしれないけれど、笑顔いっぱい仕事をしていただき、なさんに心から感謝です！



参加者の声～アンケート結果～

<よかった点>

- ・人の笑顔を集めるのにぴったりの仕事だと思う(イベント係)。
- ・準備段階からいろんなお店のかたと話せたし、会場全部をまわってとれるので、とてもよい係でした。



- ・初めてのボランティアで戸惑うこともありましたが、楽しく一日を過ごすことができました。
- ・今までやったことない仕事で、できるか心配でしたが、お客さんもたくさん来てくれて、盛り上がっていて仕事も楽しく行うことができ、充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました。
- ・バナナを割り箸にさすのがとても大変だったけれど、だからこそみんながすごく楽しんでいました。
- ・多くの方にご来場いただき、切り絵ではたくさんの笑顔を見ることができて、とても楽しいイベントになったと思います。来年も参加できることを楽しみにしています。



<改善点>

- ▲赤城という自然に囲まれたいいところがあるので、もう少し自然と関われるようなものがあるといいと思います。
- ▲スタッフとして、お客さんに食べ物などのテントに売っているのか聞かれても、把握していなかったし、配置表も持っていなかったので答えることができなかった。係に関係なく、配置がわかる用紙を配ってもらえるとありがたかった。
- ▲バルーンに張り付きになってしまい、他を見ることができませんでした。
- ▲魚のつかみ取りでは全身ぬれていた。着替えの準備の案内が必要では？
- ▲駐車場係の人がイベント会場に来ることが少なかったため、大変だけれど午前と午後で仕事を変えてもよいと思いました。



お知らせ

今年度、新しく6人の職員が赤城に来ました。詳しくは「カラゴロリ」を参考にしてください。また、ボラの子たちが気軽に所に来て、打ち合わせをしたりできるように「あかボラDESK」が企画チームの一面にできています。気軽に所に来ていろいろな経験をしたり、職員と話をして、積極的に行動することで、みんなの熱い思いをカタチにしていこう。



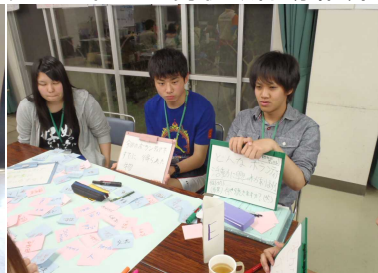
ボランティア養成セミナー



5/17・18の1泊2日で行われた「ボラセミ」は41名の参加者が集まり、大成功のうちに終わりました。当初は30名定員としていたため、運営上の不安もありましたが、企画から運営まであかボラのみなさんの努力と協力が発揮された2日間となりました。

<1日目;機構本部、北見先生の講義・体育館でのレクレーション・ワークショップ・交流会>

<2日目;大東文化大学 中村先生「救急救命法」・ボランティアの現状(活動紹介)・閉校式>



【圧倒されつつ感動の講義】【絆を深めるレクレーション】【本音トークのワークショップ】【あかボラソング熱唱】

・<参加者の言葉～アンケートから～>

- ・みんなに出会えてよかった。最高でした。
- ・すごく楽しかったです。ありがとうございました。
- ・1泊2日でしたが得るものの多いセミナーでした。
- ・短い期間でしたが、いい思い出になりました。
- ・感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・たくさんのボランティアに参加したくなりました。
- ・自分の所属する団体も紹介したかった。
- ・今後の日帰りのボラセミやボラ主体の活動など、これからもボラに興味のある人が活動しやすい環境作りをお願いします。



【印象に残った言葉・・・】

「皆さんのように“ななめの関係”でいるボラのお兄さんやお姉さんだからこそできることがあるはずですよ」
(by機構本部事業課長;北見先生)
「誰かの役に立ちたいという思いで、知識や経験にかかわらずできることを精一杯やる。これは救急救命とボランティアに共通していえることだと思います。」

(by大東文化大学;中村先生)

【企画から運営まで、中心となって活躍してくれた3人の感想です！】



私が今回企画から関わろうと思った理由は去年から赤城のさまざまな企画に参加させてもらい、こういった企画はどのようにして作られているのか興味があったからです。実際におこなってみて自分の中であまり得意ではない人の前に立ち話をするということに挑戦することができました！改めて「やれるか」ではなく「やってみる」ことで自分自身の成長を感じることができました。ありがとうございました。(ミクロン)



私は子どもと関わるのが好きです。キャンプするのが好きです。キャンプを行うには仲間が必要です。だから、ボラセミに関わりました。新しい仲間も増え、先日のキャンプは大成功でした(^-^)/
皆さん、一緒に子どもとキャンプしませんか？(みつを)



初めて企画から考えさせていただきました。去年はボラセミに参加という立場でしたが、企画してみて自分の力不足や、他の赤ボラの方のすごさを改めて実感しました。私もあんなふうになりたいと思いました。(きよん)